平成１８年１１月８日

各　　位

会 社 名　東亜道路工業株式会社
代表者名 取締役社長　澤　山　民　季
（コード番号１８８２　東証第 １ 部）
問合せ先　経理部長　　牛 尼 夏 樹
（TEL．０３－３４０５－１８１２）

特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社関係会社の業績低下にともない貸付金の評価の見直し、子会社の事業廃止、売却に伴い特別損失が発生いたしますので、その内容をお知らせいたします。

また、これにともない最近の業績動向等を踏まえ、平成 18 年 5 月 19 日に公表いたしました平成 19 年 3 月期の中間期の連結・個別の業績予想について下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

１．特別損失の発生及びその内容

当社の関係会社の業績をもとに財務状態を精査した結果、貸付金の貸倒引当金繰入額で 680 百万円、債務保証引当金で 40 百万円、9 月に子会社の 1 社を事業廃止し、1 社を売却したことにともない子会社整理損で 70 百万円を特別損失に計上する予定であります。

また、当社におきましては、関係会社株式の評価損で 190 百万円、貸付金の貸倒引当金繰入額で 1,240 百万円、債務保証損失引当金で 40 百万円、9 月に子会社の 1 社を事業廃止し、1 社を売却したことにともない子会社整理損で 140 百万円を特別損失に計上する予定であります。

２．19 年 3 月期中間連結業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）

（単位：百万円　%）

	売　上　高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）（平成 18 年 5 月 19 日発表）	36,000	△2,900	△1,900
今回修正予想（B）	33,600	△3,900	△3,500
増減額（B－A）	△2,400	△1,000	△1,600
増減率（%）	△6.7	△34.5	△84.2
前期（平成 18 年 3 月期中間）	34,293	△4,702	△3,639

３．19 年 3 月期中間個別業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）

（単位：百万円　%）

	売　上　高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）（平成 18 年 5 月 19 日発表）	25,400	△1,850	△1,200
今回修正予想（B）	21,000	△2,600	△3,070
増減額（B－A）	△4,400	△750	△1,870
増減率（%）	△17.3	△40.5	△155.8
前期（平成 18 年 3 月期中間）	24,390	△2,599	△1,859

４．業績修正の理由

連結・個別とも、受注高は前年並みに推移したものの、売上高、特に完成工事高の減少が大きく経常利益が計画を下回り、また特別損失の発生に伴い当期純利益も計画を下回る見込みであります。

（連結）

売上高は 33,600 百万円、経常損失は 3,900 百万円、特別損失に貸倒引当金繰入額を 680 百万円、債務保証引当金を 40 百万円、子会社整理損を 70 百万円計上するため当期純損失は 3,500 百万円となる見込みです。

（個別）

売上高は 21,000 百万円、経常損失は 2,600 百万円、特別損失に株式の評価損 190 百万円、貸倒引当金繰入額を 1,240 百万円、債務保証引当金を 40 百万円、子会社整理損を 140 百万円計上するため当期純損失は 3,070 百万円となる見込みです。

なお、平成 19 年 3 月期通期の業績予想につきましては、11 月 17 日に予定している中間決算短信発表時に公表する予定です。

５．今後の対策

上期の業績の動向を踏まえ、21 年 3 月期までに安定した利益が継続的に確保できる経営基盤を確立するため、中期経営計画を策定しましたのでその概要を発表いたします。

まず個別については、選別受注の徹底、原材料上昇に伴う販売価格への適正転嫁、施工管理の徹底、不採算事業所の統廃合、人員体制の見直し等を強力に推し進めます。

本年 10 月より役員報酬及び賃金等の減額を実施した他、平成 18 年度から 3 ヵ年で 200 名の人員削減を実施いたします。

連結子会社等におきましても、個々の会社の業績および財務内容、今後の事業計画を見直し、不採算子会社の整理等を行い、グループ全体で安定した収益の確保に努めます。

（注）上記予想値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。
実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以　　上